5分でわかる

GitHub Codespaces って、なに？

— 自分のパソコンではなく、“クラウド”で動く開発環境 —



1 自分のパソコンの上では動いていない

実体はクラウド（GitHub のサーバー）にあります。あなたのPCは、ブラウザでその画面を“見て操作している”だけ。だから非力なPCでも重い処理が動き、PCの設定やファイルにも影響しません。

2 リポジトリとは別物

リポジトリ＝ファイルの置き場（設計図）。Codespace＝それを元に組み立てた“動く作業部屋”です。1つのリポジトリから何個も作れて、Codespaceを消してもリポジトリは残ります。

	リポジトリ（Repository）	Codespace
これは何？	プログラムのファイル一式・設計図の保管場所	設計図から組み立てた、実際に動く開発環境
どこにある？	GitHub（クラウド）に保存	GitHub（クラウド）の上で起動して動く
状態	置いてあるだけ（動かない）	電源が入った“作業部屋”（動いている）
消したら？	ファイルそのものが無くなる	作業部屋と、中で作ったファイルが消える。リポジトリは残る
あなたのPC	どちらも自分のPCの中には無い。ブラウザ越しに“見て操作”しているだけ	

たとえるなら…

リポジトリは「家の設計図と材料」。Codespace は、その設計図をもとにクラウド（よその土地）に建てた「レンタル作業部屋」です。あなたは自分の机（PC）から、その部屋をテレビ電話でのぞきながら操作しているイメージ。部屋は自分の家には建っていないし、設計図そのものでもありません。

今日の作業部屋で使うもの

`opencode`（AIと話しながら作る）／`npx http-server -p 8000`（作ったページを自分だけで確認する“お試しサーバー”。「ポート」タブの `8000` から開く）／`git`（変更履歴のセーブポイント）。作ったファイルを残したいときは、作業部屋を消す前にGitHubへ保存しましょう。